

花

詞 奥田 祐子 曲 原田 文隆

くさも木も一二度と 芽吹かーないと 言われたまちに
えずをかかえつづけ それでも負けない ヒロシマが
はなは咲きみだれいくとしつき けつがれーてる いまま
で 手に入れる ことだけ かんがえてきた これから できること
は きっと ささえること ー
すてきな はなを ころころに ころころに 咲かそう いっぼんのはな
を だれかに だれかに おくろう ころころに 咲く はなは ー いつま
でも ー 散らない ころころに 咲く はなは ー だれにも ー うばえな
い その はなの 名 まえは たとえば ー やさしさ
その はなの 名 まえは たとえば ー ゆうき

2 消えることない 記憶をとどめ続けるまに
花は咲き乱れ 幾年月
失われたいのち ヒロシマの声が今を生きる
私たちに 託されている
今まで 多くの争いに目をそらしてきた
これからできることは きっと伝えること

すてきな花を 心に 心に 咲かそう
一本の花を 誰かに 誰かに 贈ろう
心に咲く花は いつまでも散らない
心に咲く花は 誰も奪えない
その花の名前は たとえばやさしさ
その花の名前は たとえば勇氣